

題：

CPCI 計測ボードの Windows デバイスドライバー移植と、LabVIEW 機能ドライバー作成。

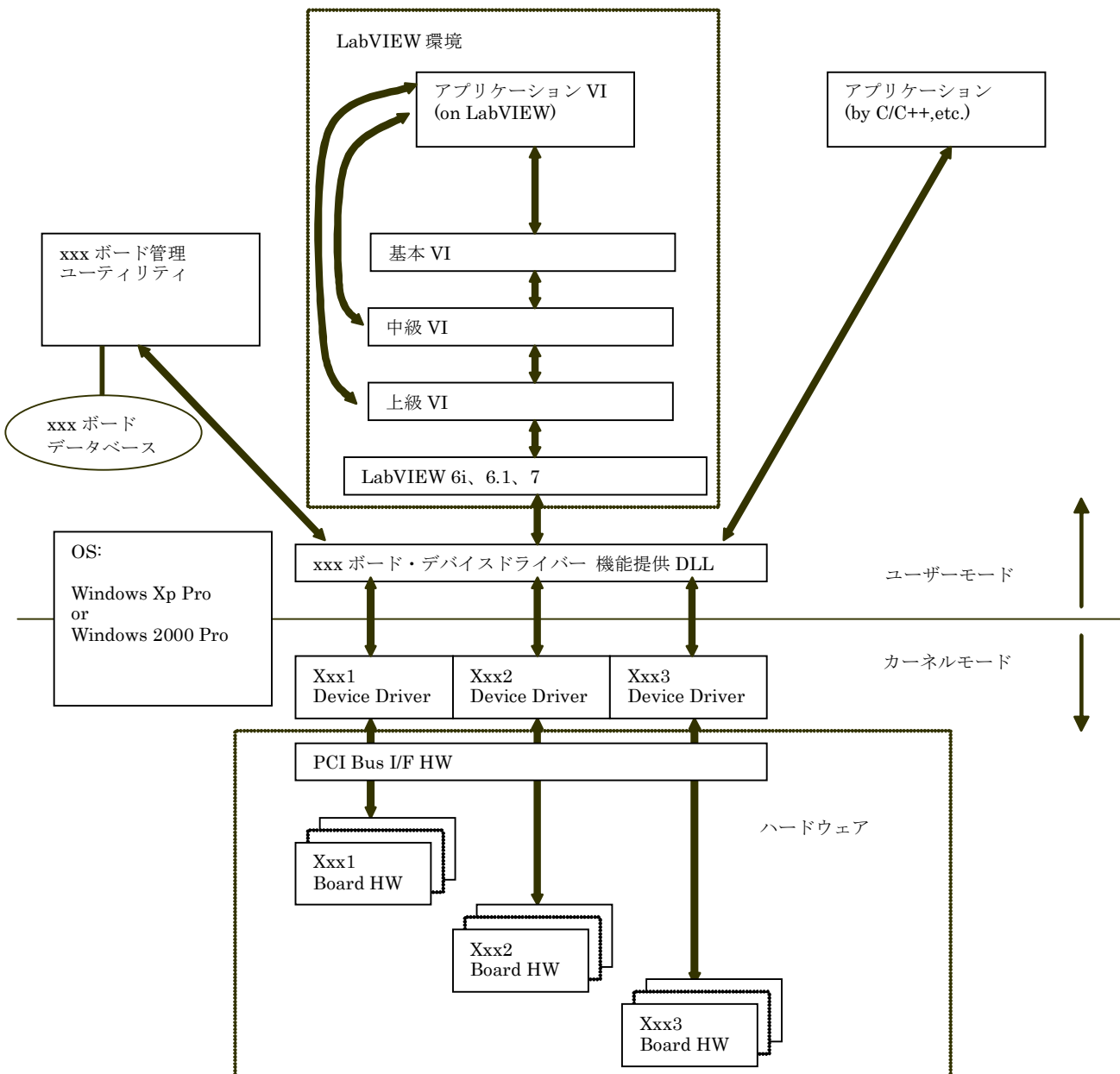
1. 概略

- RTLinux 上で動作する CPCI(Compact PC)の複数種の計測ボードを Windows2000 環境で動作するように対応デバイスドライバーの作成。
- デバイスドライバーを介して計測ボードを制御する API DLL を作成し、対応する LabVIEW 側ドライバーの作成
- 複数ボードの登録管理を行う、ボード管理アプリケーションの作成

2. システム構成

2. 1. ハードウェア構成

2. 2. ソフトウェア構成



3. 開発、作成内容

- デバイスドライバー

CAN 通信ボード、AD ボード、デジタルパターン出力ボード等の機能を制御するデバイスドライバーの作成。

開発環境、ツール：

VC++ 6、

Window 2000 DDK、

Jungo KernelDriver(デバイスドライバー開発ユーティリティ)

- デバイスドライバー機能提供 DLL

デバイスドライバーとのインターフェースを提供するAPI DLL。

開発環境、ツール：

VC++ 6

- ボード管理ユーティリティ

デバイスドライバー機能提供DLL の必要な機能を呼び出して、ボードの管理を行う。

開発環境、ツール：

BC++ 6

4. 画面例

